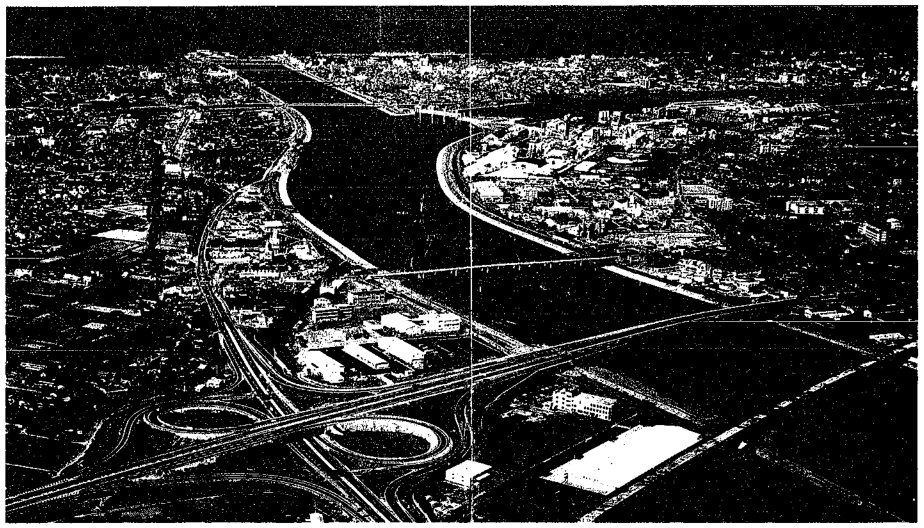
# 魅力あるまちづくり



80年代を迎えた新潟市は、人口も44万人を超え、上越新幹線の開通や高速自動車道の延長、東西新潟港の整備、国際・国内空路の拡充など、飛躍的な発展を遂げつつあります。

市政も生活環境基準に基づく行政計画の策定に着手し、人間都市創造を基調とした、たくましい都市建設を目指しています。

こうした立場に立って、80年代をどうとらえていくか、市民の皆さんと市長とで語っていただきました。

その内容を紙面で紹介いたします。

**出演者**

中野 進さん（水道町2、会社役員）
小林正久さん（信濃町、会社役員）
池端愛子さん（中野山、主婦）
川上喜八郎（新潟市長）
BSNアナウンサー 対間英洋
〃 吉弘知代
コーラス 沼垂小学校合唱部

## 要求される新潟の新しい役割

### 生活環境基準で行政計画に着手

**対間** 明けましておめでとうございます。ご承知のとおり、新潟市は人間都市創造を基調として、たくましい都市建設を進めています。こういう立場に立ちまして、八十年代の新潟市をどういうふうにとらえていったらよいか、その辺からお話ししていただきたいと思います。

まず最初に市長さん、市民の皆さんへのあいさつを含んでのお話しをどうぞ。

**市長** 市民の皆さん、明けましておめでとうございます。今年もいろいろと苦労が続くだろうと思いますが、ぜひご健康に注意されがん張ってください。

いよいよ八十年代に入ったわけですが、私はまず生活環境基準、例のシビル・ミニマムですが、これに基づいた行政計画に着手する第一年次、最初の年として今年を位置づけたいと思っています。もう一つは、現在「都市問題懇談会」という組織で論議をしていますが、新潟の将来について提言を受けて、これまた現実の歩みを始める年にしていきたい、とにかく心を新たにしてがん張りたいと思いますのでよろしくお願いします。

**対間** 新潟というものを八十年代は、どういうふうにとらえていったら良いか、中野さんからお話ししていただきたいと思います。

**中野** いよいよ日本海時代を迎えるということだろうと思います。日本における新潟の役割、あるいは責任といったものが、従来と違った形で要求されるだろうし、またそういう意味で大きく飛躍しなければならないのではないかと思います。

**吉弘** 池端さんは、奥さまの立場からどういうふうにお考えになりますか。

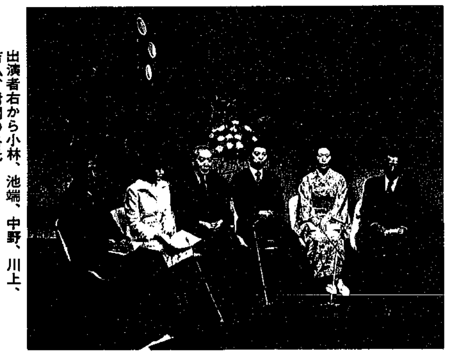
**池端** 主婦の立場として、主婦がもっと大きく羽ばたいてほしい……そういう八十年代を望んでいます。

**対間** 小林さんはいかがですか。

### これからがまちづくりの初め

**小林** 私はずっと長く、都市計画をやっていますが、堀直寄の造った新潟は、約三百六十年の長い歳月を生き続けてきたわけです。しかし、最近の世の中のいろんな動きの激しさに対応しきれなくなり、一応の役目を果たしたかっこうになっています。したがってこれからがほんとうの新しいまちづくりの初めではないかと思います。今後三百年、四百年と長く続くような立派なまちづくりをやっていきたいと考えています。

**対間** 大変有意義な話しですね。


出演者右から小林、池端、中野、川上、吉弘、対間の各氏

## 生かしたい 自由活達な市民性

さて、今度は新潟市の理想的な都市像を聞かせていただきたいと思いますが……よく、新潟市は性格、あるいは顔がないといいますが。

**吉弘** 何かはっきりとしたものがない……もっと強いものがあってほしいという望みもありますね。

**対間** 新潟市の顔というものはあるのか、ないのか。あるとすれば、どういうふうに発展させていったらいいものなのか、具体的に聞かせていただきたいと思いますが、中野さんからどうぞ。

**中野** 新潟もいい所がいっぱいあると思うんですが、ズバリこれが顔だというものがあまり見当たらない、性格がはっきりしない町だといわざるを得ないですね。

しいて言えば、昔からいわれている港町新潟、あるいは柳がきれいでいいとかこの辺に象徴されるのではないかと思います。

### 新潟の顔は信濃川

**小林** 私は信濃川が大きな顔ではないかと思っています。新潟という町は、平坦な町で平面的な信濃川ということで何となく目立たないんです。こうしたベールをはがしていけば、信濃川がくっきりと出てくるのでは……。東・西新潟が均衡しており、信濃川を苦にしない、それを取り込んで一つの新潟市というものになってきており、この信濃川が大きく浮かびでてきて新潟の顔になるのではないかと思っています。

**池端** 私は新潟には顔がないという気がします。もしあるとすれば、新潟海岸と信濃川だと思いますね。

昔の堀と柳を大事にしたかったという意味においてそれをどこにかえたらいいか、今後の問題だと思います。

**対間** 市長さん、三人のご意見をどう思いますか。

**市長** お話しのように、顔があるようで、ないようで、非常にあいまいなんですが、案外都市の顔とか性格という場合に、歴史的遺産というものが結構表にでているんですね。その点からみますと、新潟は何もないといっていいですね。ただ、今のお話しの中でもありましたように、日本海、信濃川、阿賀野川という大きな川があって、そして新潟の市民性というか、自由活達な気風が脈々と流れているわけですから、これらの条件を生かしながら、新しい立場で顔をつくっていくといいますか、こういうことが我々に与えられた義務だと思います。

**対間** 今、市長さんから何よりの市民性、人の良さというか、これが大きな顔になるのではないかとのお話しですが、私たちも心強く思いますね。

新潟の顔、信濃川と万代橋

## 国際交通ターミナルシティに

### ほしい三千メートルの滑走路

**対間** 新潟市をとりまく交通ですが、例えば高速道、新幹線もできる、港があり飛行場があるというように発達がめざましいわけですが、陸・海・空の受け皿としてはどうでしょうか。中野さんいかがですか。

**中野** 陸・海・空が、日本的、あるいは世界的スケールでそろうというようなことであれば、市民として百パーセント有効に使わなければならないと考えています。それぞれの立場で、いろいろな準備を進める必要があると思います。

空港は千九百メートルの滑走路ですが、まもなく二千メートルになります。これでは十分でなく、二千五百メートルにしてもらいたいと運動していますが、しかし本当はまだ十分ではありません。三千メートル位あるとシンガポール、ハワイなどダイレクトで飛べますし、成田空港はもうギブアップであり、成田に代るべき日本を代表する空港の一つとして、世界中からのいろんな人との交流もできます。また、貨物が新潟へきて、他へいくということで文字どおり大きなターミナルになるでしょうし、それらを期待したいですね。

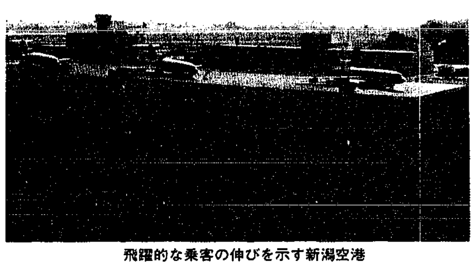
**対間** 新幹線で、新潟、東京間は一時間半ですから、新潟へきて世界へ羽ばたいていくということになりますね。小林さんはどうお考えですか。

### 市役所跡地にシンボルを

**小林** 今のお話しのように、交通の大きなプロジェクトがどんどんできてきますと、町としてはどこかにポイントがないと無味乾燥な町になってしまいます。たまたま、市役所移転の問題があり、興味深いものとみています。一番いい場所と思いますが、そこをポイントとしてこれが新潟だというような使い方をしてもらいたいと思います。

**市長** 本当に今の市役所の位置は、いい場所です。これから具体的検討に入りますが、今の意見を参考にして、本当にいい場所を市民のためにどういうふうに生かすか、これからの新潟の将来のためにどういうふうに生かすか、十分に考えてみたいと思います。

**対間** 中野さん、こういう意見は極端でしょうか。何も物を上に積み上げるだけがいいとは限らないという感じを受けるんですが…。


飛躍的な乗客の伸びを示す新潟空港

### 建物をつくるだけが開発では…

**中野** 私も同感ですね。例えば、サンフランシスコのど真中に、ユニオン・スクエアーというところがあります。新潟でいえばちょうど市役所みたいな場所ですが、小さいけれども、うっそうとしたすばらしい公園があります。そこは市民が自由に、高度な利用の仕方をしています。開発といっても何も建物をつくることだけではないと思います。

**小林** 新潟が、国際都市として進んでいこうとする場合、シンボル的なものがどこかにつくる必要があると思っています。そんなときに場所としては、市役所の場所が一番いいと考えているんですが……。

**吉弘** 今のお話しでとても魅力的な新潟の顔や国際都市ということができましたが、住む人間にとってもっと身近な所で、緑とか住みやすい環境とか、情緒面で何かほしいものがあるような気がするんですが。

**市長** おっしゃるとおりですね。まだまだ新潟はその面からいくとこれからだという感じがします。

**対間** 個人の家の庭はかなり緑が豊かですが……。

**中野** 緑化ということであれば、行政にすべて頼るのでなく、市民一人ひとりが一生懸命やることが大事ですね。例えば、ブロックべいは情緒がないといわれますが、どうしても必要ならば、少し引っ込めてその前に木を植えればいいと思います。

## 文化の育つようなまちに

### 特産品を産業化したら…

番組に色どりをそえた沼垂小学校合唱部のみなさん

**対間** 魅力あるまちというのは、おいしい食べ物がなければと思うんですが、例えば魚、お米、お酒とかこの辺での魅力はいかがですか。

**中野** 魅力ある所は、行っておいしいものがあったというのが第一印象で、一番強烈ですね。幸いに新潟はうまいものがたくさんありますね。これを産業化し、前面に出して特徴の一つとするというようなことが必要だと思いますね。例えばナンバンエビを食べたければ、新潟へ来てもらいたい、東京や大阪には売らないという方針があってもいいと思うんです。

**池端** ナンバンエビを東京では甘エビというんですね。私の親せきが東京からきて、甘エビは新潟でなければ食べられない、東京ではおいしくないといっています。やはり新鮮だということですね。

**対間** 怒とうさかまく日本海をながめ、ナンバンエビで一杯というのはいいですね。

食べ物の話しはつきないんですが、次に文化のかおり高い面について話しを移していきたいと思います。文化的な施設とか、池端さん何かご意見ございますか。

**池端** 私は東新潟に住んでいますが、子育ての終わったお母さん、また子供を育てているお母さんたちが利用できる図書館や美術館がすぐ手にとる所にあれば……ということに魅力を感じますね。

### 特徴ある美術館を

**中野** 美術館にしてもどんなにがん張っても、ルーブル美術館にはかないませんでしょうし、新潟にあってふさわしいもの、新潟の特徴がそのまま使えるような美術館が作られたら……。

例えば良寛さんであれば、ここが世界一であるというようなものを作った方が一番ためになると思いますね。

**小林** 文化が育たないまちは、まちでないといってもいいと思うんです。新潟市も最近、いろんな文化施設がどんどんできていますが、欲をいえば、周辺の環境をもう少し考えていったら生きてくるのではないかと思います。

**吉弘** 先ほどの新潟海岸とか、お米とか一緒にくるんだような博物館とか、ユニークなものを考えたいものですね。

新潟名物のナンバンエビ

**市長** そうですね。市民生活の中にふだん何も意識しないでも、文化のかおりというものがにじみ出てくるような、そういう市民の意識なり、生活になってほしいものですね。

### 自由に話し合える場を

そのためには、美術館とか博物館とか足らないものがずいぶんありますので、どんどんつくっていかなければならないだろうと思いますね。そのことが、新潟の市民性と相まって、ほんとうに実を結んでくるという時代が、やがてくるだろうという気がします。

**対間** 魅力あるまちというのは、コミュニティもうまくいってるということが必要と思いますが……。

**市長** そうですね。一人では何もできないんで、一人で新潟の顔もつくれないし、まちづくりもできないんですから、そういう意味で、一番小さい単位としてのコミュニティですね。その中で市民が自由に話し合いもする、交流もする、そういう場はこれから、地方の時代といわれるだけに大切にしなければならないと思っています。

## 国際性を持つ中枢都市へ

### 情報機能の充実を

調印を終え議定書を交換する川上市長とハルビン市の文主任

**対間** ところで、去年の暮れに、新潟市はハルビン市と友好都市を結びました。ガルベストン市、ハバロフスク市について、これで三つ目ということですが、これからどんどん、新潟が世界に羽ばたいていくわけですが、こういう世界の結びつきの中での新潟、今後どうあったらよいか話しを進めていきたいと思います。小林さん何かお考えは……。

**小林** 新潟が国際的に伸びていくとしますと、やはり大事なのは、情報機能というものが充実してこなければならないし、それと文化のレベルが上がってこなければならないと思います。

この二つがそろわないと、国際性のあるまちといわれないのではないかと思います。昔のお城が何百年も残っているように、何百年も残せる、国際性のある大きな施設をつくったらおもしろいことと思いますね。

### 世界農業大学の設置を

**中野** 国際時代ということであれば、新潟がどういう役割ができるかを考えてみたらいいと思います。新潟は世界一の米の産地ですから、その技術も進んでいますから、米を中心とした農業を前面に出したような大学をつくったらどうか、そして世界中からの学生、学者に集まってもらい何年間勉強した人は、また世界へ戻っていくとか……。そうすれば新潟の持っているノウ・ハウというか、知識を世界に提供すれば国際親善も相当進むのではないかと思いますね。

**対間** お米の総合大学といいますか、すばらしいですね。八十年代に向かって、すばらしい新潟の理想像というか、みんなで考え、よりよい新潟のまちづくり、人づくりというものに向かっていきたいものですね。今日はどうもありがとうございました。